

# 一般社団法人 大阪府病院薬剤師会 2024 年度事業計画書

## I. 事業活動方針

本会は、会員の学識的及び社会的資質向上を図り、これまでの事業を継続しながら、その中で重点項目を設定し、地域住民の医療と健康を守るなどの公益性の高い事業を実施する。

重点項目：

- ・患者の不利益回避を目的とした医療機関全般にわたる医療安全対策の検討とその実践に関する啓発を行う。
  - ・薬学的知識を駆使したチーム医療への関与充実及びタスクシフト／シェア推進という課題へ対応するための情報を提供する。
  - ・地域包括ケアシステムとの関連性を踏まえた地域医療への貢献を目指し、病診薬連携を含む薬剤師業務の在り方および地域における災害対策について、自らが考えて行動できる知識取得のサポートと行政及び他の医療団体等と協働できる体制を構築する。
  - ・基礎となる臨床薬学の研鑽のための研修を行う。
  - ・ICT を活用した事業展開方法や会議・研修会開催においてオンラインシステムの活用を継続し、安定した事業を展開できるような体制を維持する。
  - ・近年頻発する医薬品供給不安やその他薬事衛生に関して感度を高め、情報を収集・提供することにより、会員施設が参考とできる体制を整備する。
  - ・病院薬剤師不足・偏在解消に向け、会員施設の薬剤師確保を図る。
- 上記の重点項目を含め、以下に掲げる事業を以て地域住民の薬事衛生に寄与する。

## II. 事業内容

### 1. 臨床薬学の教育と研修に関する事業

臨床薬学の基礎知識をはじめとした研修会、講演会、講習会、シンポジウムなどを開催することにより、専門家としての病院・診療所に勤務する薬剤師の資質向上をはかるとともに、広く府民に啓発活動を行う。

#### ア. 新入局薬剤師研修会の開催

新しく病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、病院・診療所薬局業務、臨床薬学に関する講義を行う。

1. 回数 5日間（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 200 名(予定)

#### イ. 中堅薬剤師研修会の開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、次世代を担う中堅層に必要なテーマで研修会を開催する。

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 120 名（予定）
3. 開催時期 2024 年 11 月（予定）

#### ウ. ファーマシーマネジメントセミナーの開催

指導的立場にある薬剤師への情報提供及び実践する際の問題点の整理を行う。

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 150 名（予定）
3. 開催時期 2025 年 2 月（予定）

#### エ. 研修講座シリーズの開催

臨床現場で実践的知識として有用な講習会をシリーズで開催する。

1. 回数 3回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 500 名(予定)
3. 開催時期 2024 年 6 月  
2024 年 9 月  
2025 年 3 月（予定）

オ. 実務セミナーの開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、実務スキルの向上や新たな業務展開の一助を目的に研修会を開催する。

1. 回数 2回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 300 名（予定）
3. 開催時期 2024 年 8 月、2025 年 2 月（予定）

カ. 患者支援業務に従事する薬剤師に対する研修会の開催

薬物治療中の患者支援により、地域医療を視野に入れた薬剤師を養成するための研修会を開催する。

1) 薬物療法と患者ケアのセミナー

新薬情報、病態に基づく最新の薬物治療のセミナー

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名（予定）

2) 日常業務なんでも相談会

服薬支援業務に必須の知識とスキルの習得やマネジメントを検討する相談会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 50 名（予定）

3) 症例から学ぶ会

患者アウトカムの貢献に向けて、薬物療法の課題を共有し、機能を越えた医療連携で患者支援を検討する会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 60 名（予定）

4) 医療情報の使い方セミナー

患者ケアに向けた行動計画に必要な医療情報を知り、その使い方を学ぶセミナー

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名（予定）

キ. 小規模病院研修会の開催

比較的小さな規模の病院、施設、診療所に勤務する薬剤師、また保険薬局に勤務する薬剤師の業務支援を目的に研修会を開催する。

1) 小規模病院研修会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名（予定）

2) 薬剤師がかかわる倫理問題の実例検討会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 50 名（予定）

3) 副作用を深める症例検討会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 50 名（予定）

ク. チーム医療推進研修会の開催

「チーム医療」に関わる業務を遂行するにあたり、臨床現場で実践的知識として有用で必要な情報・技能・知識を提供すべく講習会を開催する。

1. 回数 3回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 240 名（予定）

ケ. 精神医学、精神薬学に関する講習会の開催

主に精神科病床や外来を有する病院に勤務する薬剤師、また保険薬局に勤務する薬剤師の臨床の場に役立つ講習会の開催

1. 回数 4回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 320 名（予定）

コ. 病院・診療所薬剤師業務の推進・支援を目的とした出版物等の企画・編集・発刊

「2024 年度版 新入局病院診療所薬剤師研修テキスト」の編集・発刊、その他に

も新たな出版物等の企画、出版等を行う。また、会員施設の特徴や魅力について就職を希望する薬剤師および薬学生に伝えるため、施設紹介の作成を行う。

## 2. 薬学教育における実務実習受入のための体制整備・充実に関する事業

薬学部学生の実務実習受け入れ体制の整備と充実を図るため、病院・薬局実務実習近畿地区調整機構および薬科大学（薬学部）との連携、実務実習指導薬剤師の養成事業並びに啓発活動を行う。

ア. 薬科大学（薬学部）との情報交換

イ. 実務実習指導薬剤師の養成・確保のための啓発活動

ウ. 実務実習指導薬剤師の養成事業（座学講習会 講座 ①、②、③）

1. 回数 2回（予定）

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 40 名／回（予定）

エ. 実務実習指導薬剤師の更新講習会の開催（座学講習会 講座 ④）

1. 回数 2回（予定）

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 40 名／回（予定）

## 3. 専門性の高い薬剤師育成のための事業

認定薬剤師及び専門薬剤師取得を目指す会員への知識習得の補助となる講習会を開催して、特定の専門分野に知識・技術を深く修めた薬剤師を育成し、地域医療並びに保健福祉医療の向上に寄与する。

ア. 認定薬剤師及び専門薬剤師育成のための講習会の開催

1. 回数 講習会 10回（予定）

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 800 名（予定）

## 4. 医薬品の安全性・有効性の確保並びに適正使用のための情報の収集と評価・伝達に関する事業

学術情報委員会が開催する新薬調査会で医療用医薬品の情報収集と評価の確認を行い、その調査事項を広報誌『O.H.P.NEWS』に掲載するとともに、医療用医薬品の安全性に関する情報、適正使用の情報などの伝達を行う。また、医薬品情報の収集・評価・提供に関する研究を行う。

ア. 新薬調査会を年 11 回開催

イ. 医療用医薬品の安全性に関する情報提供及びそのための研究

ウ. 医療用医薬品の適正使用、安全性確保のための情報伝達の企画

エ. 医療用医薬品の副作用調査

## 5. 患者の不利益回避に関する事業

医薬品だけでなく医療機器・再生医療等製品も含め、安全な薬物療法を提供するために薬剤師として必要とされる情報の提供、研修会の開催など、会員へのフィードバックを行う。また、各施設での医療安全上の対策に関する相談の応需、製薬会社等との意見交換を行う役割を担い、必要な情報を会員向けに発信する。

（到達目標）

1) 医療事故の原因を見極め、再発防止策を提案できる人材の育成

2) インシデント・アクシデント報告の重要性について認識を深め、事故防止対策の実施、評価を行うことができる人材の育成

3) リスク感性の向上、医療事故防止のためのリーダーシップを発揮できる人材の育成

ア. 医療安全研修会の開催

1. 回数 2回（予定）

薬剤師の医療安全に関する知識の底上げをはかることを目的に、医療の質の向上と安全（主として薬剤関連事故防止）をテーマにした研修会を開催する。

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名／回（予定）

3. 開催時期（予定） 2024年6月、2025年2月
  - イ. 医薬品安全管理責任者等交流会の開催と業務支援
    1. 回数 1回（予定）

各病院・診療所で任命された医薬品安全管理責任者等を対象とした交流会を開催し、医薬品の安全使用のための具体的な方策について情報交換を行う。
    2. 対象人員 医薬品安全管理責任者等、約50名/回（予定）
    3. 開催時期 2024年9月（予定）
  - ウ. 医薬品安全に係る情報発信のためのツールの提供（関連委員会との連携含む）

各施設等で開催している医薬品安全に係る研修会等に関する資料を収集、その他医薬品安全に係る情報を収集、その概要をデータベース化し、提供する。医薬品安全に関する情報を他職種や施設内で活用できる形式にまとめた「医療安全お役立ち情報」を発信する。また、委員会で主催した研修会記録の活用について具体的に検討する。
  - エ. 病診薬連携の推進と他職種との情報交換（関連委員会との連携含む）

ケア移行期の薬剤安全に関する情報共有など、病診薬連携による医療事故防止対策について具体的に推進する。
  - オ. 医療安全のための相談窓口としての役割と医療事故防止のためのツールに関する調査・研究（関連委員会との連携含む）

各施設での薬剤関連事故やその対策立案に関する相談を応需し、医療事故防止に向けた情報収集及び発信を行う。
6. 地域医療・地域保健での薬事指導・啓発に関する事業
- 独自の「府民くすり相談会」の開催並びに府内各地で開催される地域健康展への参加に加え関係団体からの講師派遣など協力要請に積極的に対応する。また、大阪府「薬と健康の週間」事業へ協賛するとともに、独自の医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動を行う。但しコロナ感染拡大が懸念される場合は、開催形式を考慮して行う。
- 講演会、くすり相談会、各種パンフレット配布など
- ア. 「府民くすり相談会」の開催
    1. 回数 1回（予定）
    2. 対象人数 大阪府民 約30名/回（予定）
  - イ. 関係諸団体と連携し各種イベントに協力

公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会に協力
  - ウ. 「薬と健康の週間」事業への協賛と医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動

大阪府内「薬と健康の週間」事業への協賛に加え、参画する。関係諸団体と協調し、医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動に協力する。
  - エ. 服薬遵守に支障がある者に対する医薬品の適正使用の啓発

高齢者、視聴覚障がい者、精神障がい者などに対して、医療用医薬品の適正使用に関する啓発と支援活動を行う。
  - オ. ホームページによる情報提供
    - ・会員および府民に医薬品の適正使用に関する情報を提供する。
    - ・研修会開催情報（オンライン開催含む）の提供と参加申込方法・参加費徴収方法の利便性の向上。
7. 麻薬・向精神薬並びに取扱において特に注意を要する医薬品の適正管理に関する事業
- 麻薬及び向精神薬取締法、医薬品医療機器等法、薬剤師法などの関係法規遵守の指導講習会の開催及び同法に関する事項の調査・研究を行う。
- ア. 麻薬及び向精神薬取締法等に基づく管理指導講習会

行政担当者による指導・啓発により、麻薬及び向精神薬取締法等関係法令の遵守と麻薬、向精神薬、覚醒剤原料等の規制対象医薬品の適正な管理、取扱いを周知する。

    1. 回数 1回（2024年9月予定）
    2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約100名（予定）

## 8. 臨床薬学などについての広報に関する事業

本会が積極的に推進する臨床薬学等に関する各種活動から得られる成果をより広く活用させるための事業を行う。

### ア. 広報誌『O.H.P.NEWS』の発刊

1. 内 容 随筆、新薬の紹介、施設紹介、各部各委員会の調査・研究の成果発表、研修会・講演会などの催し連絡等
2. 発行部数 年 11 回 毎回 4,300 部
3. 配布先 会員、国会図書館、関係官庁及び関係諸団体など

## 9. 薬物治療を中心に地域医療連携を推進する業務に関する事業

一般社団法人大阪府薬剤師会との共催で実施。あらゆる医療施設間同士の連携を想定し、急性期・慢性期疾患の薬物治療を双方向で安全かつ適正に服薬管理を継続的かつ的確に支援できる情報を収集するための調査を行う。時には、薬物治療に必要な医療機器やデバイスなどの取り扱いも含めた地域医療連携を推進するための研修会の開催を行う。

### ア. 地域連携の推進に関する研修会等を開催する。

1. 回 数 3 回 (予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 450 名 (予定)

## 10. その他目的を達成するために必要な事業

### ア. 薬剤師の医療倫理に関する事業

- 1) 高い倫理観を維持し業務実施できる薬剤師用の啓発資料作成

### イ. 病院・診療所薬局業務の拡充と管理運営の向上に関する事業

- 1) 病院・診療所薬局業務に関する調査・研究
- 2) 社会保険制度に関する研修・調査
  - ・診療報酬改定を理解し次回改定に向けての要望を取り纏める
  - ・社会保険制度全般に関する周知
  - ・上記内容を踏まえた研修会の開催 (1 回)
  - ・対象人員 府内に勤務する薬剤師など 約 100 名/回 (予定)
  - ・開催時期 (予定) 2024 年 6 月
- 3) 精神科病院における薬剤師業務に関する調査・研究
  - 府内の精神科病床を有する病院において、適正処方、ポリファーマシー対策等に向けたチームでの取り組みと精神科薬物療法認定薬剤師・精神科専門薬剤師の育成
- 4) チーム医療推進に関する調査・研究
- 5) 病院・診療所の外来などにおける患者支援業務に関する調査・統計の検討と業務支援につながる活動の企画
  - ・情報交換会の内容の記録・資料化
  - ・会員のニーズに合った勉強会開催の検討
- 6) 医療事故防止のためのツールに関する調査・研究
- 7) 研修制度の充実と将来的活用に関する調査・研究
- 8) 薬剤師業務全般に関わる相談窓口 (Q&A) の設置
- 9) 医薬情報活用能力の向上を目的とする研修会の開催
- 10) 患者臨床データを薬学的管理に活用するための技術向上を目的とする研修会の開催
- 11) 災害時に対応できる知識取得のための情報提供と協力支援体制の構築
  - 災害に備えるための研修会の開催
  - 1. 回 数 1 回 (予定)
  - 2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 200 名 (予定)
- 12) 大阪府病院薬剤師会の運営に関わる業務量調査
  - 負担軽減・効率化を図るためのタスクシフトの検討

ウ. 関係諸官庁・諸団体との連絡強化に関する事業

エ. 法規通達などの周知徹底の整備に関する事業

- 1) ICT 利用により会員施設へ法規通達などを伝達する機能整備に関する研究と推進
- 2) ファクシミリ同報システムを用いた情報提供の充実
- 3) インターネットによる情報伝達に関する調査・研究やその整備・保守に関する活動
- 4) 当会で運営しているインターネットおよび各種委員会メーリングリスト等を継続してより安定した環境整備を行う。さらに、ホームページを用いたアンケート等についても安定した環境・保守のための調査・研究を行う。

オ. 会員情報の管理、会員の親睦、福祉の向上、並びに病院薬剤師不足・偏在に関する事業

- 1) 入会・退会手続きの ICT 活用による簡素化を進める。
- 2) 個人情報の適正な管理を行い、会員名簿の作成を行う。
- 3) 未加入施設に入会を働きかける。
- 4) 会員間の親睦を目的とした研修会等の企画・立案を行う。
- 5) 小規模病院、精神科病院などにおける薬剤師確保のための方策を検討する。
- 6) 薬学生向け病院研究会を主催するとともに、企業就職セミナーの活用などを通して病院薬剤師の魅力を発信する。
- 7) 地域医療介護総合確保基金を活用した薬剤師修学資金貸与事業等の活用に向け、大阪府における薬剤師の偏在状況や医療機関の充足状況等の調査を進め、大阪府と連携する。

カ. 日本病院薬剤師会近畿ブロック会活動に関する事業

- 1) 日本病院薬剤師会近畿ブロック会各種委員会の開催及び委員派遣  
日本病院薬剤師会近畿ブロック会に属する中小病院および診療所における問題点について情報・知識を交換し、シンポジウムの開催、実態調査を実施する。
- 2) 日本病院薬剤師会近畿学術大会への協力

キ. 各種学会・研修会等への協力に関する事業

- 1) 全国診療所薬剤師協議会活動への協力
- 2) 薬科大学主催の卒後教育講座等への後援

ク. 財務と経理に関する事業

- ・年会費滞納者への徴収方法の継続検討。
- ・備品の購入検討や保管に関わる作業
- ・公認会計士、税理士と連携をとった会計管理

ケ. 支部活動

本会の目的及び事業遂行のため、各支部において学術研修会及び地域での薬事衛生講習会等を開催する。

コ. 新型コロナウイルス感染症関連対応

- 1) 行政への協力（地域住民への貢献）  
コロナ禍における新型コロナワクチン接種会場への会員派遣等、行政への協力を通して地域住民の安全を推進する。
- 2) 会員の資質向上への対策  
コロナ禍においても安全に自己研鑽が可能なように研修会の定員設定やオンライン活用など開催方法を工夫する。

サ. 2025 年大阪万博への協力準備

収支予算書内訳表

2024年4月1日から2025年3月31日まで

\*支部会計分を追加反映

(単位:円)

勘定科目	配賦基準	実施事業会計				其他会計	法人会計	内部取引 消去	合計 2024年度 予算	(参考) 予算増減 ( '24-'23)	備考
		継1	継2	継3	小計						
		教育・研修	地域医療啓発	会誌発行		出版・広報					
一般正味財産増減の部											
I.経常増減の部											
i.経常収益											
1 基本財産運用収入		0	0	0	0	0	2,000	0	2,000	0千	
(1) 基本財産利息収入					0		2,000		2,000	0千	銀行受取利息
2 会費・入金収入		0	0	0	0	0	35,731,000	0	35,731,000	695千	
(1) 入金収入					0		900,000		900,000	0千	@3,000×300名
(2) 正会員会費収入					0		25,963,000		25,963,000	763千	@7,000×3,709名
(3) 特別会員会費収入					0		1,862,000		1,862,000	△238千	@7,000×266名
(4) 賛助会員会費収入					0		1,600,000		1,600,000	0千	@10,000×160口
(5) 日病薬交付金収入					0		5,406,000		5,406,000	170千	@1,360×3,975名
3 事業収入		5,625,000	0	1,734,650	7,359,650	0	50,000	0	7,409,650	350千	
(1) 研修会収入		4,625,000	0	0	4,625,000	0	0	0	4,625,000	△125千	
① 新入局薬剤師研修会参加費		2,000,000			2,000,000				2,000,000	0千	@10,000×200名
② 中堅薬剤師研修会参加費		120,000			120,000				120,000	0千	@1,000×120名
③ 実務セミナー参加費		600,000			600,000				600,000	0千	@2,000×300名
④ 研修講座シリーズ参加費		250,000			250,000				250,000	0千	@500×500名
⑤ 患者支援推進委員会研修会参加費		155,000			155,000				155,000	0千	@500×310名
⑥ 小規模病院委員会研修会参加費		100,000			100,000				100,000	0千	@500×200名
⑦ 専門薬剤師育成委員会講習会参加費		400,000			400,000				400,000	0千	@500×800名
⑧ チーム医療推進研修会参加費		120,000			120,000				120,000	△30千	@500×240名
⑨ その他研修会収入		880,000			880,000				880,000	△95千	医療安全(250)、会員(30)、社会保険(100)、地域連携(450)、精神科(320)、薬学(160)、薬事制度(100)、ファーマシーマネジメント(150)、災害対策(200)
(2) 支部研修会収入		1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0千	
(2) 雑誌広告等収入		0	0	1,734,650	1,734,650	0	0	0	1,734,650	425千	
① 会誌広告料				1,700,000	1,700,000				1,700,000	425千	
② 会誌購読料				34,650	34,650				34,650	0千	
(3) 手数料収入		0	0	0	0	0	50,000	0	50,000	50千	
① 研究会認定手数料					0		50,000		50,000	50千	2年に一度集金
4 出版事業収入		0	0	0	0	0	0	0	0	0千	
(1) 出版販売収入					0				0	0千	
① 新入局薬剤師研修テキスト					0				0	0千	
(2) その他の収入(出版)					0				0	0千	
5 寄付金収入		0	0	0	0	0	250,000	0	250,000	△130千	

(1) 一般寄付金					0		50,000		50,000	△130千		31
(2) 賛助金収入					0		200,000		200,000	0千	日病薬からの賛助金(市民お薬相談会)	32
6 その他の収入		0	0	0	0	0	1,000	0	1,000	△1千		33
(1) 受取利息					0		1,000		1,000	△1千		34
(2) その他の収入					0		0		0	0千		35
経常収益計		5,625,000	0	1,734,650	7,359,650	0	36,034,000	0	43,393,650	914千		36
ii. 経常費用												37
1 事業費支出		14,340,000	1,081,000	15,550,400	30,971,400	115,000	1,270,000	0	32,356,400	2,231千		38
(1) 教育・研修費		9,890,000	0	0	9,890,000	0	0	0	9,890,000	△340千		39
① 新入局薬剤師研修会開催費	直接対応	1,500,000			1,500,000				1,500,000	△240千		40
② 中堅薬剤師研修会開催費	直接対応	670,000			670,000				670,000	△100千		41
③ 研修講座シリーズ開催費	直接対応	560,000			560,000				560,000	△90千		42
④ 実務セミナー開催費	直接対応	1,230,000			1,230,000				1,230,000	△190千		43
⑤ 小規模病院委員会研修会開催費	直接対応	350,000			350,000				350,000	0千		44
⑥ チーム医療推進研修会開催費	直接対応	250,000			250,000				250,000	△100千		45
⑦ 専門薬剤師育成委員会講習会開催費	直接対応	2,500,000			2,500,000				2,500,000	0千		46
⑧ 患者支援推進委員会研修会開催費	直接対応	400,000			400,000				400,000	△100千		47
⑨ その他の研修会開催費	直接対応	2,430,000			2,430,000				2,430,000	480千	会員(親睦会)、精神科、情報通信、医療安全、薬学生、社会保険、薬事制度、地域連携	48
(2) 支部研修会費用	直接対応	2,000,000	0	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0千		49
(3) 広報誌関係費	直接対応	0	0	14,960,400	14,960,400	0	0	0	14,960,400	2,875千	OHPニュース・発送関係費、原稿料等	50
(4) 府民医療振興事業費		0	400,000	0	400,000	0	0	0	400,000	0千		51
① 府民くすり相談会開催費	直接対応		300,000		300,000				300,000	0千		52
② 地域医療対策費	直接対応		0		0				0	0千		53
③ 薬と健康の両立行事協賛及び医薬用医薬品適正使用に関する啓発活動費	直接対応		100,000		100,000				100,000	0千		54
④ 府民のための冊子「お薬Q&A」発刊費	直接対応		0		0				0	0千		55
(5) 事業対策費		0	0	0	0	0	770,000	0	770,000	△40千		56
① 会員名簿発刊費	直接対応	0			0	0	770,000		770,000	△10千		57
② 実習生受入対策費	直接対応	0			0				0	△10千		58
③ 生涯研修関係費	直接対応	0			0				0	△10千		59
④ 近畿ブロック病院・診療所勤務薬剤師対策費	直接対応	0			0				0	△10千		60
(6) 出版事業費		0	0	0	0	0	0	0	0	0千		61
① 広告費	直接対応				0	0			0	0千		62
② 企画費	直接対応				0	0			0	0千		63
③ 通信連絡費	直接対応				0	0			0	0千		64
④ 租税公課	直接対応				0	0			0	0千		65
⑤ 雑費(出版)	直接対応				0	0			0	0千		66
(7) 会議費	会議実施回数	340,000	170,000	0	510,000	100,000			610,000	310千	委員会web会議費	67
(8) 情報通信費	事業従事人数	280,000	0	40,000	320,000	10,000			330,000	155千		68
(9) 旅費交通費	会議参加者人数	1,510,000	250,000	550,000	2,310,000	0			2,310,000	△530千	理事会・委員会実費弁償	69
(10) 諸謝金	直接対応	0	50,000	0	50,000	0	0		50,000	0千		70



(11)	調査費	直接対応	60,000	50,000	0	110,000	0	0	110,000	△200千	調査費、病院実態調査経費等、	71	
(12)	消耗備品費	直接対応	150,000	5,000	0	155,000	5,000	0	160,000	0千		72	
(13)	支払手数料	事業従事人数	10,000	1,000	0	11,000	0	0	11,000	1千		73	
(14)	印刷製本費	直接対応	10,000	0	0	10,000	0	0	10,000	0千		74	
(15)	雑費	事業従事人数	90,000	155,000	0	245,000	0		245,000	0千		75	
(16)	広告宣伝費	直接対応					500,000		500,000	0千	学生向け合同研究会	76	
2	管理費支出		0	0	0	0	0	13,800,000	0	13,800,000	340千	77	
(1)	給与手当					0		3,510,000		3,510,000	50千	事務職員給与	78
(2)	福利厚生費					0		740,000		740,000	10千	通勤費等	79
(3)	会議費					0		790,000		790,000	360千	理事会、総会会場費等、理事会web会議費	80
(4)	旅費交通費					0		100,000		100,000	0千	総会関連等(実費弁償など)、神農祭関連	81
(5)	通信連絡費					0		760,000		760,000	40千	電話料金、郵便料金等、ZOOM年間利用料、さくらビジネスプロ年間利用料	82
(6)	消耗備品費					0		880,000		880,000	△170千	事務用品等、会費コンビニ収納代行サポート(保守+振込用紙)、HP用レンタルサーバー	83
(7)	印刷製本費					0		90,000		90,000	△10千	総会資料印刷費等	84
(8)	賃借料					0		2,330,000		2,330,000	0千	事務所賃料、共益費	85
(9)	諸謝金					0		2,610,000		2,610,000	0千	公認会計士等報酬	86
(10)	図書資料費					0		0		0	0千		87
(11)	水道光熱費					0		100,000		100,000	30千	電気料金等	88
(12)	渉外費					0		20,000		20,000	△10千	中元、歳暮等	89
(13)	保険料					0		180,000		180,000	△20千	火災保険・PC保険、役員保険等	90
(14)	租税公課					0	0	80,000		80,000	0千	住民税・事業税(均等割)・消費税	91
(15)	慶弔見舞金					0		0		0	△50千		92
(16)	減価償却費					0		330,000		330,000	0千	会費コンビニ収納代行機能開発(4/5年)	93
(17)	寄付金							10,000		10,000	10千		94
(18)	雑費					0		890,000		890,000	100千	清掃費+会費コンビニ収納代行手数料、振込手数料、参加費Stripe決済手数料	95
(19)	リース料					0		380,000		380,000	0千	キャノン複合機(4/5年)	96
3	予備費							1,000,000		1,000,000	0千		97
	経常費用計		14,340,000	1,081,000	15,550,400	30,971,400	115,000	16,070,000	0	47,156,400	2,571千		98
	当期経常増減額(A)		△ 8,715,000	△ 1,081,000	△ 13,815,750	△ 23,611,750	△ 115,000	19,964,000	0	△ 3,762,750	△1,657千		99
<b>II. 経常外増減の部</b>												100	
	i. 経常外収益					0				0			101
	ii. 経常外費用					0				0			102
	当期経常外増減額(B)		0	0	0	0	0	0	0	0			103
	他会計振替額					0				0			104
	当期一般正味財産増減額		△ 8,715,000	△ 1,081,000	△ 13,815,750	△ 23,611,750	△ 115,000	19,964,000	0	△ 3,762,750			105
	一般正味財産期首残高					△ 122,457,215	813,026	242,543,138	0	120,898,949		2023年3月期	106
	一般正味財産期末残高					△ 146,068,965	698,026	262,507,138	0	117,136,199		見込み	107

配賦基準	内容	該当科目
会議参加者人数	各関連事業に係る会議参加者数により配分	旅費交通費
会議実施回数	各関連事業に係る会議の実施回数により配分	会議費
事業従事人数	関連事業従事人数により配分	通信連絡費、支払手数料、雑費
直接対応	その事業に計上すべきか明確な場合は、該当事業に直接計上。	上記以外事業費

2024年度 収支予算の解説

【説明】	各部・委員会での事業計画に対する予算を配賦
【概要】	<p>●収入</p> <p>(右端番号36) 経常収益計 : 43,393,650円 (黄色塗りつぶし箇所)</p> <p>●支出</p> <p>(右端番号98) 経常費用計 : 47,156,400円 (黄色塗りつぶし箇所)</p> <p>●収益差額</p> <p>(右端番号99) 当期経常増減額 収支差額 △3,762,750円</p>
【積算根拠 項目詳細】	<p>i. 経常収益</p> <p>2. 会費・入会金収入</p> <p>(右端番号3) 会費・入会金収入 : 2023年度予算案より増額</p> <p>3. 事業収入</p> <p>(右端番号9) 事業収入 : 2023年度予算案より増額</p> <p>(右端番号22) 会誌広告料 : 2023年度予算案より増額 (2022年度実績より)</p> <p>(右端番号25) 研究会認定手数料 : 2年に一度集金 (2023年度集金なしのため2024年度は集金あり)</p>
	<p>ii. 経常費用</p> <p>1. 事業費支出</p> <p>(右端番号38) 事業費支出 : 2023年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号39) 教育・研修費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号40) 新入局薬剤師研修会関係費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号41) 中堅薬剤師研修会関係費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号42) 研修講座シリーズの開催費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号43) 実務セミナー開催費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号45) チーム医療推進研修会開催費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号47) 患者支援推進委員会研修会開催費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号48) その他研修会開催費 : 2023年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号50) 広報誌関係費 : 2023年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号56) 事業対策費 : 2023年度予算案より減額</p> <p>(右端番号67) 会議費 : 2023年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)</p> <p>(右端番号68) 情報通信費 : 2023年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)</p>

(右端番号69) 旅費交通費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)

(右端番号71) 調査費 : 2023年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)

(右端番号76) 広告宣伝費 : 学生向け合同研究会

## 2. 管理費支出

(右端番号77) **管理費支出 : 2023年度案より増額**

(右端番号80) 会議費 : 2023年度案より増額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号82) 通信連絡費 : 2023年度案より増額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号83) 消耗備品費 : 2023年度案より減額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号84) 印刷製本費 : 2023年度案より減額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号95) 雑費 : 2023年度案より増額 (上半期実績額を勘案)

## 3. 予備費

(右端番号97) 予備費